

(別記)

令和5年度吉田町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は、静岡県中部・大井川下流域に位置する。水稲と裏作のレタスの栽培が盛んで、水田の多面的な利用が図られている。生産性の高い農業や消費者が求める安心・安全・新鮮な農作物の栽培への取組が求められている。また、耕作放棄地の解消が課題といえる。

今後、安定した農業経営を推進するため、農業生産基盤を適正に整備・保全し農地の確保及び地域に適した有効活用を図り、後継者や新規就農者を更に育成していく必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

経営農地が分散傾向にあるため、農地の集積・集約化により農作業効率の向上とともに、収穫量の増加、収益力の強化に取り組む。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

基幹作を行っている耕作者へ補助金の制度について改めて説明をし、水張りを行うのかを申請時に確認し、今年度及び来年度に水張りを実施する旨を確認した。

不作付け地となっている町内の水田を把握し、解消に努める。また、耕作放棄地となっている水田についても、耕作放棄地対策事業補助金を活用し、畑地として作付けの推進を図る。

また、地域における水稲作付水田と転換作物作付水田の効率的な転換について、担い手農家を中心に関係機関とともに、ブロックローテーション体系の構築について引き続き検討をする。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米は、静岡県農業再生協議会で提示する県産米の需要予測を基に、需要に応じた米の生産に取り組む。

(2) 備蓄米

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

地域の実需者の需要動向を踏まえながら、担い手を中心に作付を推進していく。

ウ 新市場開拓用米

エ WCS 用稲

オ 加工用米

地域の実需者の需要動向を踏まえながら、担い手を中心に作付を推進していく。

(4) 麦、大豆、飼料作物

(5) そば、なたね

(6) 地力増進作物

(7) 高収益作物

2と同様の取組を行い、推進していく。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和6年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	244		244		244	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米			0.2		0.2	
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米			1		1	
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	58.4	51.8	59.6	52.5	59.6	52.5
・野菜	57.2	51.7	58	52	58	52
・花き・花木	0.1		0.1		0.1	
・果樹						
・その他の高収益作物	1.1	0.1	1.5	0.5	1.5	0.5
その他						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	レタス・スイートコーン・枝豆・パレイ ショ・タマネギ・ズッキーニ・ブロッコ リー・オクラ・キャベツ・エゴマ・コール ラビ（基幹作）	担い手加算（基幹作）	作付面積の拡大（a）	(3年度) 358a (4年度) 523a	(5年度) 530a (6年度) 530a
2	レタス・スイートコーン・枝豆・パレイ ショ・タマネギ・ズッキーニ・ブロッコ リー・オクラ・キャベツ・エゴマ・コール ラビ（二毛作）	担い手加算（二毛作）	作付面積の拡大（a）	(3年度) 2900a (4年度) 3451a	(5年度) 3500a (6年度) 3500a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 静岡県

協議会名: 吉田町

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	担い手加算(基幹作)	1	4,094	レタス・スイートコーン・枝豆・ハليونヨ・タマネキ・スツキ ニ・ブロッコリー・オクラ・キャベツ・エゴマ・コールラビ(基幹 作)	作付面積に応じて支援
2	担い手加算(二毛作)	2	4,094	レタス・スイートコーン・枝豆・ハليونヨ・タマネキ・スツキ ニ・ブロッコリー・オクラ・キャベツ・エゴマ・コールラビ(二毛 作)	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。